

修理および試験にあ  
つてのご注意

WABCO 機器の安全な  
修理・試験



**WABCO**



# 修理および試験にあたっての ご注意

WABCO機器の安全な  
修理・試験

第 2 版

本印刷物は文書管理システムの対象外となっています。  
最新版は  
[www.wabco-auto.com](http://www.wabco-auto.com) の INFORM でご入手いただけます。

© 2009 WABCO

**WABCO**

表記の内容を予告なく変更することがあります。  
バージョン 1/05.2009(ja)

815 180 109 3

## 使用中のマーク



**警告**

ここに記載された内容に従わない場合、重度の人的損害または死亡事故が発生する恐れがあります。



**注意**

ここに記載された内容に従わない場合、軽度または中度の人的損害が発生する恐れがあります。

— WABCO 機器の正しい洗浄、修理または試験に関する指示・情報

## 1 安全上のご注意

車両上での修理作業は必ず相応の資格を有する自動車修理工場スタッフに実施させてください。

車両メーカーによる指定および指示事項に従ってください。

事業所内の事故防止規定および国内規定に従ってください。

可能な限り、防護用具(保護めがね、呼吸保護具、防音保護具など)を着用してください。

## 2 車両からの取り外し



**警告**

車両から機器を取り外す前に、車両が発進しないように安全措置を講じる必要があります。  
車両上で修理作業が実施されていることを示す標識をハンドル部分に付けておいてください。



**注意**

機器の温度が完全に低下し、圧力がなくなってから、機器を取り外してください。

— 機器の設置場所に印をつけてください(パイプ管上の接続箇所など)。ケーブル接続箇所に印をつけてください。

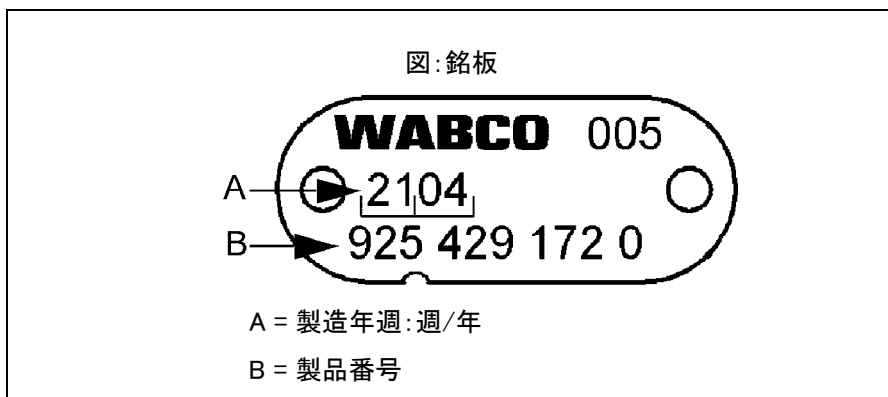
— 修理、洗浄、試験の各作業は、清潔な整理整頓された場所でのみ実施してください。

## 3 取り外しの前に

— 機器内に液体が含まれる場合には、これを排出し、適切な方法で処分してください。

### 機器の識別

- 機器の製品番号を銘板で確認してください(図参照)。
  - 修理対象となっている機器の製造年週に注意してください(図参照)。
- 必ず各機器に適した修理キットを使用してください。
- 機器の製造年週と製品番号(図参照)が修理キットの説明書に記載されたデータと一致しているかを確認してください。



- 見積図面を照合しながら、機器が完全に揃っているかを確認してください。この文書は [www.wabco-auto.com](http://www.wabco-auto.com) で製品カタログ INFORM に製品番号を入力することでご入手いただけます。
- 機器の修理を行う際には、該当する交換パーツ表を確認してください。この文書は [www.wabco-auto.com](http://www.wabco-auto.com) で製品カタログ INFORM に製品番号を入力することでご入手いただけます。

## 4 取り外し

**注意**



適切な工具および治具のみを使用して修理作業を実施してください。機器は絶対にバイス(万力)に固定しないでください。

- 部品の混合を防ぐため、複数の機器を同時に分解しないでください。

**注意**



機器を取り外す前には、機器にバネセット荷重がかかっているかを必ず確認してください(修理キット説明書または交換パーツ説明書参照)。

- 分解図面に記載された通りに取り外した部品を作業台上に置いてください。必要に応じて配置状況を写真に撮ってください。

## 5 洗淨



注意

機器全体または電気・電子コンポーネントや機器を洗淨しないでください。燃料を洗淨剤として使用しないでください。燃料には可燃性があり、健康に有害です。

- 通常、自動車修理工場で使用されている洗淨剤は、空圧コンポーネント用として使用が許可されています。
- 合成樹脂部品やゴム部品は全て、修理キットに含まれている新品部品と取り替えてください。これらの部品の交換が不可能である、またはこれが望まれない場合、水状の石けん系洗淨剤で洗淨してください。
- 金属部品は低温洗淨剤で洗淨した後、水状の石けん系洗淨剤で洗淨してください。
- 筐体部品は必要に応じて超音波洗淨を行ってください。
- 通気・換気孔に汚れが付着している場合には、これを除去してください。
- 古くなった部品は除去し、環境に準じた方法で処分してください。

## 6 確認

- 破損した機器部品は交換してください(交換パーツ説明書参照)。ここでいう破損とは、腐食、表面消耗、ネジの破損等をさします。
- 指の爪で表面をなぞり、機器表面に窪みがないかを確認してください(爪による検査)窪みが確認された場合には、機器を交換する必要があります。

## 7 取り付け



注意

修理に必要な情報をよく読み、理解したうえで修理作業を開始してください。修理する機器が落下しないように相応の固定措置を講じてください。

- WABCO または車両メーカーが許可している交換パーツのみを使用してください。
- 交換した部品を分解図面(修理キット説明書)上で確認し、順に印をつけてください。
- 修理キットに含まれる部品は全て機器内に取り付けてください。
- 修理中には、古い部品と新品部品を混合しないように注意してください。
- 修理キットに添付された潤滑説明書に従ってください。ゴム製のメンブランにはグリースを塗布しないでください。
- 取り外し順序と逆の順序で取り付けを行ってください。
- 修理キット説明書に記載された締付トルクを厳守してください。

## 8 試験

- 機器の試験を行う際には、該当する試験指示書を確認してください。この文書は [www.wabco-auto.com](http://www.wabco-auto.com) で製品カタログ INFORM に製品番号を入力することでご入手いただけます。
- 車両メーカーが指定するデータに従って汎用機器の設定を行ってください。

**警告**



修理済みの機器は、車両上に再び取り付ける前に必ずテスト上でそれぞれ試験するか、適切な設備を使用して機能性と密閉性を確認してください。

### 密閉性の試験

- 機器上に石けんの泡を塗布して、漏れがないかを確認してください。
- 石けんの泡を塗布する際には、機器内に水分が侵入しないように注意してください。水分が侵入すると腐食につながる恐れがあります。
- 泡がさらに発生する場合、機器には漏れがあり、修理は成功していません。
- この場合には、修理作業を再度実施してください。
- まだ試験が完了していない機器との混合を避けるため、試験済みの機器には印をつけてください。

**注意**



テスト上のそれぞれの管でエア抜きを行ってから、ドレンプラグ、ホース、機器部品を取り外してください。

## 9 車両上への取り付け

- 必要に応じて防腐措置を講じてください。

**警告**



交換作業や修理作業を行った場合、必ずシステム全体の機能試験を実施してください。機器を車両上に取り付けた場合、必ずテスト走行を実施してください。

- 試験を実施した場合には、必ず試験記録書等に記録してください。



WABCO Vehicle Control Systems (NYSE: WBC) は世界をリードする商用車向け安全・制御システムメーカーです。WABCO では 140 年以上にもわたり、大型商用車向けブレーキシステム、スタビリティシステム、サスペンションシステム、自動駆

動システム等用として 電子・メカニック・メカトロニック技術の開発を行っています。WABCO はベルギー・ブリュッセルに本社を置きながら、世界有数のトラック、牽引車両、バス車両メーカーの皆様とお取引引きしています。 [www.wabco-auto.com](http://www.wabco-auto.com)



**WABCO**